

有明広域行政事務組合消防本部・玉名消防署統合庁舎建設事業の概要

1 事業概要

(1) 事業名称

消防本部・玉名消防署統合庁舎建設事業

(2) 事業地

玉名市築地 309 番地 1 外地内

総面積 13,503.85 m²

庁舎 3,919.55 m²、 主訓練塔 326.14 m²、 副訓練塔 308.73 m²

(3) 建設事業スケジュール

工事着工 令和元年 1 月 予定

工事完了 令和 3 年 1 月 予定

開 庁 令和 3 年 3 月 予定

2 新庁舎建設の基本的考え方

(1) 消防活動拠点機能

- ① 緊急車両の出動動線は、速やかに出動できるようにし、緊急車両と来庁者車両の動線は交錯しないようにします。
- ② 職員の動線は、出動を考慮し速やかに出動できるようにし、来庁者の動線と交錯しないようにします。
- ③ 緊急車両車庫は、迅速な出動をするため隊員の活動に必要な空間や、車両相互間には十分な離隔距離を確保します。
- ④ 大型車両が出動の際、支障とならない幹線道路に面し、車庫前のスペースは大型車両が回転でき、さらに車両の点検等が容易にできる空地を確保します。
- ⑤ 緊急消防援助隊の受援体制運営拠点を確保するためヘリポートを整備します。

(2) 教育・訓練機能

- ① 大規模災害等の各種災害対応における消防、救急、各種連携訓練が行える訓練場を整備します。
- ② 消防技術の高度化に対応するため消防訓練施設を整備し、日常的に消防職員及び消防団員の教育訓練が行えるようにします。
- ③ 昨今の自然災害の発生状況を考えると、いつどこで災害が発生してもおかしくない状況です。地域住民や事業所等の職員の火災予防意識の啓発や防災訓練を実施し、自助・

共助力の向上のため防災学習センターを整備します。

④ 救命講習会や防火管理者講習会など各種講習、研修会が行える研修室を整備します。

(3) その他

① 新庁舎は、地震災害時の緊急対策の拠点機能施設として、十分な耐震性が必要なため、地震に対する高い耐震性を確保した庁舎とします。

② 消防活動能力を維持するために自家用発電設備を整備し、災害に強い庁舎とします。

③ 再生可能エネルギーを採用し太陽熱温水設備など、自然エネルギーを活用した庁舎とします。

④ 高齢者や障がい者だけでなく、子育て中の方など誰もが安全で快適に利用できる庁舎とするため、ユニバーサルデザインを導入します。

⑤ LED照明や人感センサー付きの照明などを採用することや、省エネルギー型機器を採用することで、維持管理コストの軽減が図れる庁舎とします。

3 庁舎主要諸室構成

区分	諸室等
消防本部	事務室、消防長室、閲覧・相談室、書庫、物品庫、更衣室（男・女）、給湯室、洗面所
消防署	事務室、署長室、相談室、車庫、出動準備室、防火衣乾燥室、防災学習センター、救急室、救急倉庫、倉庫、ボンベ充填室、トレーニング室、仮眠室（男・女）、洗面・更衣室（男・女）、食堂、講堂・研修室、多目的室、書庫、物品庫
共有部分	玄関ロビー、エレベーター、トイレ（男・女・多目的）
附属建物等	主訓練塔、副訓練塔、ホース乾燥塔、駐車場、駐輪場、掲示板、ヘリポート、自家用発電設備、国旗掲揚場、太陽熱温水設備、受水槽、耐震性防火水槽、消火栓